

第2次総合計画施策評価シート《令和5年度分》

[illegible]

目指すべきまちの姿	弥富市の魅力が県内外に発信され、多くの人が訪れる魅力あるまちになっています。
-----------	--

●主要施策と概要【PLAN】		この1年間の成果及び反省点【DO】		担当課	評価 【CHECK】
(1) 観光協会の支援 ・観光協会に対し支援を行い、観光の振興に向け、各種活動の活性化を図ります。		5年ぶりに桜まつりを初の宵まつりとして開催しました。また、令和4年度に引き続き桜並木のライトアップを行い、本市にはこれまでにない観賞スタイルで新たな来場者呼び込み、観光振興、活動の活性化を行いました。		観光課	A
(2) 観光資源の充実・活用 ・観光協会との連携により、春まつりや芝桜まつりを行い、海南こどもの国や野鳥園とイベント等の相互協力を進め、さらにボランティア団体との連携により観光の充実・活用を図ります。		桜まつりや宵まつり、また、海南こどもの国との共催で夏まつりや秋まつりを実施しました。その中で、ボランティア団体などとブースの出店等を連携し、事業を実施しました。		観光課	A
(3) 広域観光体制の充実とPR活動の推進 ・近隣市町村、海部地域観光ネットワーク協議会、木曾三川下流地区広域観光連携協議会との連携により、広域観光の振興を図り、様々な広報媒体等を活用し、観光PRを推進します。		海部地域観光ネットワーク協議会が実施した事業に参加するなどして、広域的な観光PRを行いました。		観光課	A

●施策目標に対する市民満足度	単位	現状値 (平成29年度)	目指す方向性	中間値 (令和4年度)
観光の振興	%	8.6	↗	9.3

●成果指標	単位	現状値	各年度の実績値					目標値 (目指す方向性)	
		(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和10年度
(2) 観光入込客数	千人	629	652	457	583	560	594.9	670	710

事業 No	実施計画に係る事業名	担当部署	今後の進め方【ACTION】
(2)	やとみ桜まつり等イベント開催事業	観光課	アフターコロナとなり、これまでの観光スタイルから変化を見せていると感じています。そのような状況の中、本市の特産である金魚を活用した各種事業は、これまでの取組により集客効果に一定の成果も見られることから市の知名度向上に有効であると認識しています。この特色を生かした事業を展開する上で予算措置を講じる必要があります。

施策の今後の方針 【ACTION】	弥富まちなか交流館を観光拠点として、より多くの方の目に触れる媒体であるSNSを活用し、また、市内外で特産品の金魚を活用した「大作戦」イベントでの顔の見える情報発信に取り組んでいきます。
------------------------------------	--

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和5年度分》									
事業No	実施計画に係る事業名					課	グループ	作成日	
(2)	やとみ桜まつり等イベント開催事業					観光課	観光グループ	令和6年5月7日	
■総合計画の位置づけ									
基本計画	基本目標	4	【産業・雇用】人と地域の資源を活かし、にぎわいを生み出すまち					重点施策	
	施策目標	3	観光の振興						
	主要施策	2	観光資源の充実・活用						
	主要事業		やとみ桜まつり等イベント開催事業						
SDGs 連携分野	目標17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する								
	17 パートナーシップで 目標を達成しよう 								
■事業内容【PLAN】									
事業目的	観光協会との連携により、やとみ桜まつりを行い、海南こどもの国などとイベント等の相互協力を進め、さらにボランティア団体との連携により観光の充実・活用を図り、訪問者でにぎわうまちづくりを目指します。					主な協働・ 関連団体等	弥富市観光協会		
							公益財団法人愛知公園協会		
							弥富金魚漁業協同組合		
事業概要	観光協会との連携により、やとみ桜まつりや、共催する海南こどもの国秋まつりなどのイベントを実施します。					関連する 個別計画・ 根拠法令等	弥富市観光協会補助金要綱		
							弥富市補助金等交付規則		
事業の開始・ 終了	開始年度	平成18	年度	終了年度	令和10	年度			

■事業費(単位:千円)【DO】										
事業内訳	令和5年度(実績)		令和5年度(計画)		令和6年度(計画)		令和7年度(計画)			
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)		
	弥富市観光協会補助金	27,424	弥富市観光協会補助金	21,424	弥富市観光協会補助金	24,983	弥富市観光協会補助金	18,000		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
合 計	27,424	合 計	21,424	合 計	24,983	合 計	18,000			
(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0			
成果指標			単位	現状値 (平成29年度)	各年度の実績値					目標値(目指す方向性)
				令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和10年度
(2) 観光入込客数			千人	629	652	457	583	560	595	670 710
指標の分析	新型コロナウイルス感染症拡大以前とは、観光スタイルに変化がみられ、少人数で行う観光等が主流となっており、客数の大幅な増加は見込めないと分析しています。そのような状況において、本市の新たな観光情報発信拠点であるYaToMiAQUAを中心に、今後は徐々に観光客数も増加する見込みです。									
■事業の評価【CHECK】										
項目	評価視点				評価の結果					
必要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか				地場産業及び商工業の育成のみならず市民に親しまれ、地域の活性化を目的としたイベントが必要です。					
効率性	・前年に比べてどのように工夫したのか ・コストの削減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性				5年ぶりの桜まつりや初の宵まつりの開催に合わせ、開催時期や時間、規模などを見直し、新しい形でのイベントを実施しました。また、夏まつりや秋まつりを海南こどもの国と共催することにより、コストの削減を図りました。					
妥当性	・市・住民・団体が誰が実施するのが良いか				観光資源は、行政が保有するものではありませんが、市と観光協会が共同で行うことで観光資源の集約化が進むことから、行政と観光協会が共同での運営が妥当です。					
施策への貢献度	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果				観光の振興施策として市の特産である金魚を軸とした各種イベントは、市の知名度向上に大きく貢献しています。市外からの観光入込客数の増加は、経済活性化や税収の向上が期待され、市民サービスの向上へつながります。					
■今後の進め方【ACTION】										
課長意見							方向性			
アフターコロナとなり、これまでの観光スタイルから変化を見せていると感じています。そのような状況の中、本市の特産である金魚を活用した各種事業は、これまでの取組により集客効果に一定の成果も見られることから市の知名度向上に有効であると認識しています。この特色を生かした事業を展開する上で予算措置を講じる必要があります。							現状維持			